

のり養殖通報第8報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議 平成27年1月8日発行

[気象]今後も周期的に冬型強まる

- 12月下旬以降は寒暖差が激しく、一時的に暖かい日が出現しているが、強い冬型の気圧配置で気温が平年を下回る日が多くなっている(図1)。
- 12月下旬～1月7日の木更津観測所における降水量は25mm(平年26.3mm)、平均日照時間は5.8時間/日(平年6.0時間)でほぼ平年並みで経過。
- 気象予報によると、今後も寒暖の変動が激しく周期的に強い冬型の気圧配置が出現すると予報されている。

[海況]植物プランクトン減少。栄養塩は十分

- 8日現在、金谷～久里浜ラインには水温15℃台の水塊が波及しており、内房ののり養殖漁場の水温変動にも影響を与えている。新富津のり漁場における観測値では、12月中旬に一段階降下した水温は13℃前後での横ばいが続き、時折14℃以上に上昇している(図2)。今後の外洋水の動向に注意が必要。
- 1月7日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾9～12℃台、内房は12～13℃台。半月前と比較すると内湾では約1℃低下したが内房はほぼ同じ水温。12月下旬に増加した植物プランクトン(スケルトネマ等の小型珪藻)は減少し、時化による濁りで透明度が低下した地点はあるが概ね透明度も回復。周期的なまとまった降雨による補給もあり、栄養塩類は十分な量が含まれている(右表)。

[今後の見込みと留意点] 良好な海況継続

- 強い季節風が連吹し収穫のペースが上がらないが、海況的には良好な状態が続いており、当面色調の良いノリの生産が期待できる。良質ノリを増産し生産のピークを形成して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は1月21日頃発行します。

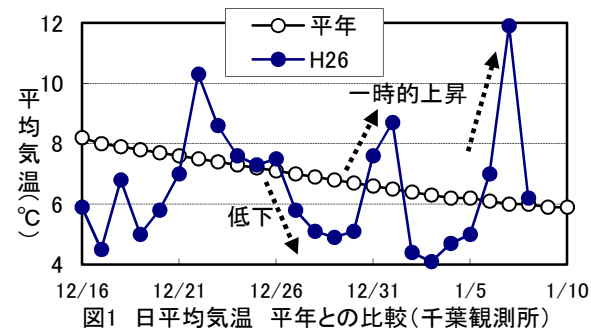


図1 日平均気温 平年との比較(千葉観測所)

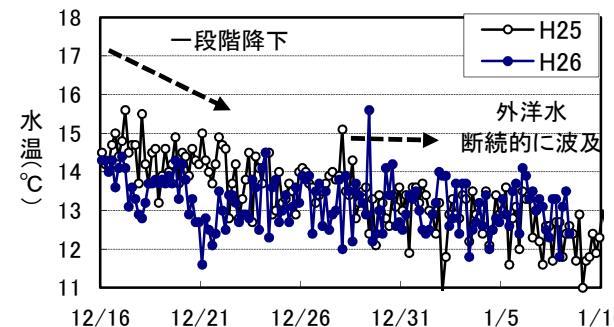


図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(1/7)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	9.5	31.6	8.4	1.9	596	27
盤洲Cブイ	11.4	32.2	8.3	4.0	619	38
盤洲Aブイ	11.1	32.6	8.3	4.5	519	31
富津ベタ	12.1	33.1	8.3	4.8	430	29
2海ほ下	12.6	33.2	8.3	4.0	331	25
大貫沖	13.1	33.5	8.3	4.5	276	22
湊沖	13.3	33.6	8.2	4.0	245	21

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100, リン10